

キャラクター名
緑野 虎馬 (みどりの こうま)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ソラリス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	
	オプション		年齢	16歳	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	憎悪	初期侵食率	35	%
出自	姉妹	経験	トラウマ	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	4	0	0			4	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
思い出の一品	
思い出の一品	
思い出の一品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
究極のゼロ	P	N		
“月狂”黒倉 一樹	P 執着	N 偏愛		
死んだ姉	P 執着	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト: Sa	3	2						
効果:								
氷の塔	5	4	メジャー	視界	範囲(選択)	RC		
効果:	「攻撃力: +[Lv*3]」の射撃攻撃を行う。あなたと同じエンゲージにいるキャラクターを対象にできない。							
氷炎の乱舞	5	4	メジャー			RC	リミット	
効果:	前提条件: 《災厄の炎》か《氷の塔》。《災厄の炎》か《氷の塔》のいずれかと組み合わせて使用する。組み合わせた攻撃の攻撃力+[Lv*3]する。ただしこのエフェクトを組み合わせた判定のダイスを-2個する。							
トランキリティ	5	3	メジャーリアク			精神		
効果:	このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[Lv+1]個する。ただし、あなたは5点のHPを消費する。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

“聖なる教皇”配下のオーヴァード部隊、『カラード部隊』に所属する少年。サラマンダー／ソラリスのクロスブリードで、感情に任せた荒々しい戦い方を得意とする。

小学六年生の頃、二歳年上の姉と二人で留守番していた折に盗人が侵入。侵入者に気付いた二人は押入れの中に隠れたが、虎馬がうっかり音を立ててしまった為に盗人に存在を気付かれてしまう。姉は弟を護る為に押入れから飛び出し、盗人の毒牙にかかる。彼は盗人が姉を襲う音を聞きながら恐怖と怒りと絶望で震えていた。感情が頂点に達した時、オーヴァードに覚醒。彼は衝動のまま押入れを飛び出し盗人を殺害するが、その時既に姉は殺害されており、盗人を一瞬で殺した事を後悔するほど変わり果てた姿となっていた。この出来事は彼の精神を大いに狂わせ、UGNに保護された後も彼の心は闇に沈んでいた。長い時の経過と出会いによって少しは傷が癒えてきたが、記憶のフラッシュバックによって錯乱状態に陥る事が多々ある。特に一人きりで居ると嫌でも当時の事を思い出してしまう為、彼の傍には必ず誰かしら仲間が付く事となっている。彼の心は怒りと憎悪で満ちており、それを誰かに向ける事を望んでいる。一方で自分を庇ってくれた姉のような「優しさ」と「自己犠牲」を持った人間を居る事も知っている為、無差別に人を襲う事を嫌う。信頼する誰かに命じられ、大義名分を持って敵を攻撃する事が彼にとって唯一自分の力を開放できる瞬間である。戦闘スタイルは彼の内面の狂気を現すかのように荒々しいものとなっている。完全な力技を好み、衝動のままに力を使う。過去のトラウマがそのまま彼の力なのだ。

食事は質素なものを好み、豪華なもの、特に家庭料理を嫌う。(姉を思い出してしまう為)